

福祉のひろば

2023.8
70

「福祉のひろば」へのご意見募集中!



アンケート入力フォームから広報紙へのご意見をぜひお寄せください!
記事の感想や掲載してほしいことなど
みなさまの声をお待ちしています!

青森県社協ウェブサイト

「福祉ネットあomorい」はこちら →

URL <http://aosyakyo.or.jp/>



P2-3 特集

市町村社協 法制化40周年企画

市町村社協のこれまでとこれから

市町村社会福祉協議会(市町村社協)は、令和5年に法制化40周年を迎えます。社協・福祉への「これまで」と「これから」への想いを県内4社協の常務・局長にお聞きしました!

P5 ボランティア活動情報

弘前大学地域創生本部
ボランティアセンター
ボランティア体験談



ボランティアの派遣を円滑に行うため、地域と大学の仲介機能を果たしている「弘前大学地域創生本部ボランティアセンター」。

活動している学生お二人にお話を伺いました!

P9 ふくしワークLINE

- ・どなたでも参加できます!
福祉のお仕事体験してみませんか?
- ・保育士向け就職サポート講座&相談会 開催
- ・～介護現場っておもしろい～
ふくしを学ぼう! 体験講習会



福祉事業所・福祉職の方に向けた情報をお知らせ!

P10 みなさまの善意に感謝!

県社協への寄附・善意銀行への預託をご紹介します!

P6-7 発信! 県社協

- ・みんなの居場所
～人間には複数の居場所が必要です～
- ・返還免除つきの再就職準備金をご存知ですか
- ・～県社協の困窮者支援の現場から～
【ひきこもり(社会的孤立)への支援】ほか

県社協が取り組んでいる活動をご紹介します!

P11 スポットライト

社会福祉法人青森県玉葉会 救護施設白鳥ホーム
精神保健福祉士 木村 雅範さん
県内の福祉の現場で活躍している人物をご紹介します!

P12 県社協から

福祉従事者向け研修計画一覧を活用ください!

市町村社会福祉協議会（市町村社協）は、令和5年に法制化40周年を迎えます。

地域福祉を推進する民間の組織として、地域住民の福祉の向上に向けて日々活動している市町村社協。

今回は社協・福祉への「これまで」と「これから」への想いを県内4社協の常務・局長にお聞きしました！

Q1 入社時の福祉の状況とこれまでを振り返って

Q2 一番印象に残っていること

Q3 今後、社協がなすべきことと職員へ一言

社協にしか出来ない
地域福祉とは何かを
考えることが必要



〔八戸市社協〕
間山 路代 局長

平成4年
から勤務。
社協歴31年

Q1 住民同士が支えあう
福祉活動を目指して

入職時は、特に青少年のボランティア育成に力を入れており、主婦やリタイアした人なども活発にボランティア活動に参加していました。当時は、福祉施設でのボランティア活動が中心で、小地域での福祉活動は十分ではない状況でした。

平成5年、国庫補助事業「ふれあいのまちづくり事業」の受託をきっかけとして、住民同士が支え合う、よりきめ細かな福祉活動のために、地区社協の設置が必要だとの機運が高まり、平成8年から地区社協の設立に向けての取組が始まりました。現在は26地区に設置され、高齢者の見守り活動やサロン活動等、様々な福祉活動に取り組んでいます。

Q2 受け継がれていく
地域福祉への思い

東日本大震災の被災者支援のため、災害ボランティアセンターを開設し、延べ79日間で2392人のボランティアが支援してくださいました。春休み中のたくさんの高校生も駆けつけてくれて、福祉会館の玄関前に自転車がいっぱい並んで光景に胸が熱くなりました。これまでの地道な福祉教育への取組は、すぐには目に見えない成果は得られないけれど、



一列に並び高校生ボランティアの自転車
※八戸市災害ボランティアセンターにて

Q3 社協というブランドを
作り上げていく

現在の福祉課題は、繋がりの希薄化や社会的孤立と関わりが深く、社会との繋がりを再構築していくような取組が求められていると思います。今後は、地域共生社会に向けた社協の役割、社協にしか出来ない地域福祉とは何か、県内の社協が丸となり考え、社協というブランドを作り上げていかなければならないと感じています。

社協職員は、一人一人が社協の顔であることを意識して、地域の方と丁寧に関わり、気軽に相談しやすい関係づくりを心掛けて欲しいと思います。また、どんな業務に携わっていても、社協の理念、大きな目的に向けて、日々向上心を持って業務に取り組んでもらいたいと思います。

地域への信頼と
ニーズに応えた事業を
オール社協で行う



〔南部町社協〕
山本 郁子 常務

平成2年
から勤務。
社協歴34年

Q1 介護事業への参入から
生まれた変化

旧名川町社協で事務局長と福祉活動専門員、二人体制のスタートでした。措置費や委託費と限られた補助金の中で、当時の配食サービスは、民生委員や婦人会の協力を得て一人暮らし世帯を週一回の友愛訪問的に行っていました。制度の波により事業型社協を目指し介護事業に力を注ぎ、限られた財源から自主財源が生まれ、県内では初めて毎日型の朝・昼・夕の配食サービスを実現することができました。

Q2 思いやりの力が
結集した災害支援

平成25年台風18号豪雨による馬淵川の氾濫で初めて災害ボランティアセンターを立上げました。県内外から駆け付けた300人近くのボランティアの皆さんが、連日懸命に汗を流し、困っている時には助け合う思いやりの力が結集した形が印象に残っています。災害ボランティアセ

Q3 社協の存在意義を
示し続けるために

ンター立上げにより、役割を担い、存在感を示すことができた達成感、社協職員で良かったと実感しました。



県内外から駆けつけたボランティアの皆さん
※南部町災害ボランティアセンターにて

福祉分野に多業種が参入してくる中で、社協の存在意義が問われてくると思います。社協だからできる、住民が抱えるさまざまな『生活のしづらさ』の解消を、これまで培ってきた社会資源とのつながりを強みに『オール社協』で地域への信頼とニーズに取り組み、地域で生涯を送りたいという願いに応えられる地域福祉をつくっていくことが社協の使命であると思います。

福祉は、結果や効果がすぐに現れるものではないため、日々の積み重ねと、豊かな発想と信念を持って『出来ない』を優先せず、どうすれば『出来るか』という視点で、地域住民のための福祉に取り組んでもらいたいと思います。



市町村社協のこれまでとこれから

地域に出て人と会おう
課題と解決策を
見つけるために



〔五所川原市社協〕
平山 博文 常務

昭和58年
から勤務。
社協歴40年

Q1 住民こそが真の支援者

「市町村社協の法制化」の年に入職。超速度で進む高齢化」対策急務。ノーマライゼーション思想で福祉を考えることが広まり始めた頃でした。

住民交流が相応にあり、近所や親戚の慶弔に「たすけあい資金」を利用したり、自宅で相談を受けた民生委員が、実態確認をした後に、その対応を求めて来所することも多かったです。

24時間安心。を掲げた福祉安心電話は、要援護者を地域で見守る意識を醸成する側面があり、これによって住み慣れた家で長く生活できた世帯も増えてきました。

人々への親身でさりげない支え合いは、まさに暮らし住民こそが発揮できる絶大な資源であり、真の支援者であることを学び、現在も頼っています。

Q2 協力者が広げる
チャンスとの出会い

活動の過程を、全力で支えてくれる人と場面に数多く出会い、チャンスが広がったこと。入浴車寄贈を機に、看護や介助ボランティアが集まり、愛の輪レクリエーション大会参加者に、生演奏で歌ってもらおうと

バンドメンバーが協力してくれたことも。

近年では、こども宅食おすそわけ便に想像を超える様々な支援が続き、驚きと励まされる日々です。

Q3 つながりの構築に夢と熱を

「つながり」ことを意識した行動が、すべての事柄で一層重要となりま

果敢に課題を拾い、解決への多様な連携を進め、資源を開拓する。さらに、その作業に理論や可視化の要素を溶け込ませる技量も必要になるでしょう。

一人ひとりに向き合う支援が求められる今こそ、分野を超えて夢を広げる「つながりの再構築」を、真剣に先導する時だと考えています。



ボランティアと入浴車がつながり、笑顔広がる。(昭和60年の市社協広報から)

地域に出掛けて、課題を全身で感じ取り、「やるぞー」の姿勢と熱い意欲をもって、解決策を地域で見つけ、育てる柔軟な独自発想を楽しみにしています。「ふれあいネットワーク」が社協のキャッチフレーズですよ。

社協・役場が連携し
双方が住民に
頼られる存在になる



〔鰯ヶ沢町社協〕
井上 雅哉 局長

平成6年
から勤務。
社協歴30年

Q1 財源を確保できる社協に

入社当時の社協はたすけあい資金の貸付や団体事務業務が主で地域福祉に係る業務はさほどなかったような記憶があります。当時の事務局長(後に鰯ヶ沢町長に就任)が「こつこつ仕事をしていたはダメだ」と、県社協の配食サービスモデル事業に手を挙げました。「助成金や補助金はとってくるものだ、財源確保を考え地域福祉を展開していかなければならない」という教えが、現在の鰯ヶ沢町社協の基礎になっていると感じます。また、平田会長からは「社協が何をしているのか分からない住民がたくさんいる、社協活動を発信するように」とアドバイスを受けSNSを活用し情報発信を行っています。

Q2 災害対応での
鰯ヶ沢町社協職員の違い

昨年の大雨による災害時の対応では県社協をはじめとする県内市町村社協職員や全国のボランティアの皆様には大変お世話になりました。災害ボランティアアセスメントの運営を任された者として皆さんの困難が山積していました。一言で言えば私自身の精神的な未熟さです。災害の被災者でありボランティアセンターの主催者であったあの時期は精神的に

追い込まれていたことは間違いありません。その状況の中、私を救ってくれたのは鰯ヶ沢町社協の職員達でした。

Q3 頼られる社協とは何かを
自分に問い続ける



災害ゴミをトラックにて運搬する様子
※鰯ヶ沢町災害ボランティアセンターにて

社協・役場が共に住民の声に耳を傾ける姿勢が重要です。どちらに相談しても適切な窓口につながらず、必要があれば連携をとり結果として住民の困りごとが解決できる仕組みづくりが重要となります。鰯ヶ沢町では重層的支援体制整備事業を実施しています。様々な事業やサービスを展開することで持続可能な地域共生社会が生まれてきます。住民に頼りたいではなく住民の声に耳を傾けることが頼られる第一歩だと私は思います。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

商品パンフレットは
こちらから



(ふくしの保険
ホームページ)

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償		
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行幸用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

ボランティア活動情報



昨年8月の大雨災害によって被害を受けたリンゴを拾い清掃する支援活動

弘前大学地域創生本部ボランティアセンター（以下、同センター）は、ボランティアを通じて、課題解決と地域社会に貢献することを目的に平成24年10月に設立されました。同センターは、ボランティアの派遣を円滑に行うため、地域と大学の仲介機能を果たしており、「野田村支援交流活動」や子ども達への学習支援、除雪等、多岐にわたるボランティア活動を実践しています。令和5年2月現在、557名（弘前大学在学生の約8%）の学生が同センターに登録しており、今回は、実際に活動している学生お一人にお話を伺いました。

弘前大学地域創生本部ボランティアセンター

ボランティア体験談

地域と大学をつなぐ！ 弘前大学
地域創生本部ボランティアセンター

学習支援を広げたい



澤田 壮太さん

北海道の大学に在学していた4年間、中学生を対象とした学習支援のボランティア活動に取り組んでいました。その時に勉強を教えていた中学生が高校生になり、「今、勉強が楽しいんだ」と声をかけてもらったことがあったのですが、それがとても印象深く、記憶に残っています。

ボランティアに参加し、子どもたちの成長を身近に感じられたことがとても嬉しく、弘前大学大学院に入学してからも、学習支援を継続したいと思い、同センターに登録しています。

現在は、週に1回開催される「学習支援教室あつぷる〜む」の活動に参加し、中学生に勉強を教えています。学習支援にとどまらず、参加した中学生同士の交流の輪が広がっていくのを見ると、「こういう機会がもっと増えればいいな」と感じています。これからも学習支援のボランティアを続けていきたいと思っています。

弘前大学地域創生本部ボランティアセンターに登録している弘前大学大学院農学生命科学研究科1年澤田壮太（さわだそうた）さんと弘前大学理工学部2年羽原拓哉（はばらたくや）さんに体験談を伺いました。

自発的な活動で支えたい



羽原 拓哉さん

ボランティアをする方もされる方もどちらも楽しそうだなと思ったところがきっかけで、高校生の頃から1人でもできるゴミ拾いなどのボランティア活動を続けてきました。

大学入学後、1年生から同センターに登録して学習支援などに参加し、2年生になった今年度は、学生事務局として若手県野田村への交流支援に参加しています。交流支援では、野田村の特産品である「野田塩」などを現地で調達し、学園祭で販売するなどの地域活性化に向けた活動も続けています。

また、同センターに登録している学生が自発的に「こんなボランティアがしたい」というアイデアを教員に提案、企画するという活動にも参加しています。構想中のアイデアもあるのでボランティアの幅を広げるためにも、実現できるように頑張りたいです。

がんを含む
病気やケガの備えに

No.1

アフラック
がん保険・医療保険
保有契約件数

令和3年版 インシュアランス生命保険統計号

心配な「がん」の備えに

医療保険
EVER Prime

「生きる」を創る
がん保険
WINGS

●契約年齢
0歳～
満85歳まで

※ご契約内容により異なります。

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

株式会社RAB企画

☎0120-55-7064 ☎017-739-3598
〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目2-35

●アフラックサービスショップ青森柳町店	〒030-0861 青森市長島2-25-4	☎017-721-3151
●八戸支店	〒039-1166 八戸市根城5-5-27 青森放送八戸支社3F	☎0178-43-8610
●アフラックサービスショップ八戸下長店	〒039-1164 八戸市下長1-6-20	☎0178-21-1730
●弘前支店	〒036-8355 弘前市元寺町25-1 青森放送弘前支社1F	☎0172-35-1881
●むつ支店	〒035-0033 むつ市横町2-16-8	☎0175-33-8215

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック
青森支社

〒030-0802 青森県青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビルディング9F
Tel.017-777-0963 Fax.017-777-0942

AFツール-2022-0287-2209010 7月26日

掲載している活動について詳しく知りたい方は、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 ● メール：fukushi-net-aomori@aosyakyo.or.jp

● 電話：017-723-1391 ● FAX：017-723-1394

県社協HPに

最新情報

公開中！ ➡



活用
ください

運営適正化委員会 福祉サービスの質の向上を求めて！

運営適正化委員会・苦情解決事業では、事業開始当初から令和4年3月までに4,000件を超える相談・苦情に対応し、解決に当たってきました。

ここ数年では、施設職員や利用者等から、年間200件を超える相談・苦情が寄せられています。



事業所の苦情解決力向上のため、事業所訪問や職場内研修への職員派遣、苦情解決に関する研修会を開催しています。サービスの資質向上を図りたいとお考えの法人施設において、ぜひ本委員会をご活用ください。

開催
しました

郡市町村社協事務局長会議

5月10日（水）、社協を取り巻く諸課題を共有し、連携を深めることを目的として、県内郡市町村社協の事務局長が集まり、会議を開催しました。

会議では、昨年8月の豪雨災害時に災害ボランティアセンターを設置した鯉ヶ沢町社協 井上事務局長より、被災当初から復旧に至るまでの支援状況について「発災3日後からの被災者支援 172日の軌跡」と題した活動報告がありました。動画や写真を交えながら臨場感に溢れた報告を聞き、参加者からは、被災者支援の糧となったとの声が多く上がっていました。



被災者支援のあり方を学びました！

活用
ください

令和5年度福祉職員キャリアパス 対応生涯研修スタート！

福祉職員のキャリアに応じた階層別研修「福祉職員キャリアパス対応生涯研修」が、今年度もスタートしました。

コロナ禍の昨年度は、全コースをオンラインで開催しましたが、集合による研修効果が高いと考えられる3コースについては、今年度は対面形式で行う計画です。

初回の「初任者コース」は6月22日～23日の2日間、67名が受講し、熱心にグループワークに取り組んでいました。「チームリーダーコース」の受講申込は9月1日～29日まで受付しています。

階層別のコースと対象者

初任者コース（入職後3年以内の職員等）

中堅職員コース（入職後3～5年以内の職員等）

チームリーダーコース（主任・係長等）

管理職員コース（管理者・指導的立場の職員等）

※本研修は全国社会福祉協議会が開発

活用
ください

刑務所退所者の 地域定着を支える

青森県地域生活定着支援センターでは、留置場や刑務所等から釈放後、自立した生活を送ることが困難な高齢者、または障がい者の社会復帰に向けた支援を行っています。

今年度下記の研修を行います。司法・更生保護の理解や社会資源の活用方法、効果的な多職種連携のあり方など、刑務所退所者が地域で安定した生活を送ることができるよう個々の抱える生きづらさに応じた地域定着を考えます。

<研修案内>

名称	令和5年度 地域福祉支援検討会（下北・上十三圏域）
日時	令和5年10月（予定）
場所	三沢市
対象	下北・上十三圏域の福祉施設、事業所等に勤務する職員
内容	講義 刑事司法、更生保護制度等について 事例検討 多職種連携による刑務所退所者の支援について
その他	参加費無料、定員40名



青森県社協が取り組んでいる活動をご紹介します！

事業紹介

みんなの居場所

～人間には複数の居場所が必要です～

社会貢献活動推進室では、家庭でもない、学校や職場でもない第三の居場所（サードプレイス）としての「みんなの居場所」づくりを支援しています。

現在登録いただいている青森県内の「みんなの居場所」は66ヶ所。子ども食堂や学習支援、地域共生サロンなどの非営利の民間の活動が登録されています。



6月28日には、「みんなの居場所ネットワークミーティング」を青森市で開催。居場所の運営者やこれから始めたい人、居場所づくりを支援している行政や社協の職員など56人が参加し、活動への思い、今抱えている課題など、ざっくばらんに話し合いました。

事業紹介

～県社協の困窮者支援の現場から～ 【ひきこもり(社会的孤立)への支援】

ひきこもり状態にある方の相談はご家族からいただくことが多く、ご家族との面談を通じて、事前情報の把握、自宅訪問などの支援方法の整理を行います。



アウトリーチの一環としての自宅訪問

ひきこもっている「本人」と相談員の面談が実現できたケースでは、多くの場合、就労や社会参加活動、若者サポステや医療機関などの関係機関につなげることができています。本人との面談が難しい、支援拒否などのケースでは支援が長期化することが多いですが、ご家族との定期面談を行うなど、アウトリーチ活動を継続し「つながり続ける支援」を行っています。



伴走による
若者サポステへのつなぎ

相談はこちら 0800-800-7114 (フリーダイヤル)
本人・ご家族のほか関係機関も相談可！

活用 ください

返還免除つきの 再就職準備金をご存知ですか

「離職した介護人材の再就職準備金貸付事業」は介護の仕事に再就職する方に、子どもの預け先を探す際の活動費や服や靴、自転車等の購入費用、学び直しのための講習会参加費などを貸付できます。

金額は最大40万円で、2年間継続して介護の仕事に従事すると貸付金の返還が免除されます。

これまでに介護職経験があり、再就職を考えている皆様は、ぜひご活用ください。

介護事業所の皆様も、人材不足の解消や定着促進のため、職員を採用する際にご活用ください。



詳細は県社協 HP を
ご覧ください



青森県社協 介護 貸付



活用 ください

保育のお仕事出張相談会 Part1

青森県保育士・保育所支援センターでは、5月から6月にかけて県内6か所の商業施設で、保育所等で働きたい方を対象に「保育のお仕事出張相談会 Part1」を開催しました。弘前会場には8人の来場があり、求人情報を見ながら、希望する雇用条件や保育士証の記載内容の変更等について相談されていました。

今後行う相談会や就職に役立つ研修のお知らせ、求人・求職登録は、当センター運営のHP「青森県保育士人材バンク」をぜひご活用ください。



青森県保育士人材
バンクはこちら↓



↑「プランクがあるので最近の保育事情を伺いたい」と話す相談者

令和5年度

ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>

全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン	基本セットプラン	天災セットプラン		
賠償事故に対応	身体賠償 (1名・1事故)	1億円・7億円	2億円・10億円	死亡保険金	121.2万円	108万円
	財物賠償 (1事故)	1,000万円	1,000万円	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%~100%	
	受託・管理財物賠償 (期間中)	200万円	200万円	入院保険金 (1日あたり)	1,700円	1,500円
	うち現金支払限度額 (期間中)	20万円	20万円	手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍	
	人格権侵害 (期間中)	1,000万円	1,000万円	通院保険金 (1日あたり)	1,100円	1,000円
	事故対応特別費用 (期間中)	500万円	500万円	天災補償	なし	あり
	被害者対応費用	1名につき 5万円限度 1事故 10万円限度				
			園児の傷害事故に対応			

個別プラン

プラン1 保育所業務の補償

① 基本補償

- オプション1 ● 地域子育て支援拠点事業等補償
- オプション2 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用などの費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

② 個人情報漏えい対応補償

③ 保育所の什器・備品損害補償

新型コロナウイルスへの備えとして、施設の感染症対応費用補償をご提供しています



プラン2

保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3

職員等の補償

- ① 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- ② 役員・職員の傷害事故補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償

プラン4

法人役員等の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「保育所・認定こども園の損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12039 から抜粋)



どなたでも参加できます!
福祉のお仕事体験してみませんか?

青森県福祉人材センターでは、実際に福祉の仕事を経験できる「福祉施設職場体験事業」を実施しています。

若年層からシニア層まで、資格の有無に関わらず、福祉・介護・保育の仕事に関心のある方ならどなたでも参加できます。

体験は、1人あたり最大10日まで、体験費用は無料です。



これまでの体験者からは、「体験した事を将来に生かしたい」「職員に助けられながら貴重な体験ができた」など、うれしい声が届いています。

興味のある方は、青森県福祉人材センターまでお問い合わせください。

【問合せ先】 青森県福祉人材センター
電話：017-777-0012

保育士向け

就職サポート講座&相談会 開催

青森県保育士・保育所支援センターでは、保育分野に関する就職支援として、講座&相談会を開催します。

保育士向け就職サポート講座&相談会

参加費無料・相談会のみ参加は申込不要

地域	日付・時間	会場
弘前市	9月12日(火) 10:00~13:00	ヒロコ3階 多世代交流室2
青森市	9月20日(水) 10:00~13:00	県民福祉プラザ 2階 多目的室2B
八戸市	9月26日(火) 10:00~13:00	ユートリー5階 異業種交流室

※講座の申込は各会場、開催日の前日13時まで

講座では、就職時に必要となる費用が借りられる「貸付制度」や現場で実践できる「製作物」について紹介します。相談会では、就職に向けた個別相談に加え、最新の求人情報も見ることができ、充実した内容となっております。

この機会にぜひご参加ください。

【問合せ先】 青森県保育士・保育所支援センター
電話：017-718-2225

介護現場っておもしろい!

ふくしを学ぼう! 体験講習会

青森県福祉人材センターでは、介護等に関する資格を有しながらも現在就労していない方、ブランクがあり復職に不安がある方、資格はないが福祉・介護の仕事に興味のある方などを対象に体験講習会を開催しています。今年度は要望が多い介護技術(移乗)をテーマにしています。技術講習終了後に、就職に関する個別相談も実施します。受講料は無料です。ぜひ、ご参加ください。

ふくしを学ぼう! 体験講習会

無理なく安全に介護現場で役立つ介護技術の基本
移乗介助・ベッド上での起居動作の介助を学ぼう

地域	日付・時間	会場
八戸市	9月7日(木) 13:30~15:00	八戸市総合福祉会館 2階 多目的ホール
弘前市	11月9日(木) 13:30~15:00	弘前市社会福祉センター 2階 大会議室

青森会場は8月に終了しました。

【問合せ先】 青森県福祉人材センター
電話：017-777-0012

地域に根差したさまざまな製品を
確かな企画力と生産技術でお届けします。

青森コロニー印刷

<http://aomoricolony.jp/>



■営業本部 〒030-0943 青森市幸畑字松元62-3 TEL(017)738-2021・FAX(017)738-6753
■八戸営業所 〒039-1164 八戸市下長6丁目11-13 TEL(0178)29-1001・FAX(0178)29-1003
■東京営業所 〒165-0023 東京都中野区江原町2-6-2 TEL(03)5996-2761・FAX(03)5996-2760

みなさまの善意に感謝！

令和5年1月～6月分 寄附・預託のご紹介



● 青森県社協への寄附

青森県社協が実施する事業や福祉団体への支援等に役立てるための寄附をいただきました

寄附者名 (敬称略)	寄附金額 (円)
公認会計士・税理士 小野寺高事務所	80,814
公益社団法人青森県柔道整復師会	100,000
株式会社ベルジョイス	5,306
株式会社オープンループパートナーズ	50,000
一般社団法人東北再生可能エネルギー協会	100,000
株式会社モリレイ	300,000
青森県信用金庫協会	298,754
東北マスクワールド	20,759
青森銀行従業員組合	100,000
匿名希望 (1名)	10,000
合 計	1,065,633

寄附や預託、贈呈式の様子をHPで紹介しています。

贈呈式は写真付きで掲載中です！
ぜひご覧ください！



青森県社協HP
寄附ページは
こちら



青森県ボランティア・
市民活動センターの
facebookはこちら



● 青森県善意銀行への預託

善意銀行を通して福祉施設や団体に金銭や物品等の寄附をいただきました

預託者名 (敬称略)	預託内容	払出先名 (敬称略)
東北労働金庫青森県本部	寄附金 360,000円	就労継続支援B型事業所3ヶ所
フコク生命青森支社外野倶楽部	寄附金 118,000円	若葉乳児院
青森ヤクルト販売株式会社	車椅子 20台	県内福祉施設20ヶ所
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS&ADゆにぞんスマイルクラブ	車椅子 1台	社会福祉法人わかば会
一般社団法人東日本大震災 雇用・教育・健康支援機構	カプセルトイ 2,852個	児童養護施設、こども食堂、こども宅食おすそわけ便29団体
青森銀行従業員組合	使用済み切手 430g (2,558枚) 書き損じ、未使用はがき 計10枚	NPO法人誕生日ありがとう運動本部
青森県信用金庫協会	使用済み切手 7,760g	緑の地球防衛基金
青森スポーツ振興会	みちのくプロレス招待 50席	福祉施設利用者 (最大50名)
株式会社テクノル	文具等	子育て家庭

● 青森県社協への寄附を受け付けています ●

青森県社協へ寄附をいただける場合は、青森県社協HPから「寄附申込書」をダウンロードの上、必要事項を記入いただき、下記までFAXまたは郵送でお送りください。記入いただいた連絡先へ、寄附担当者からご連絡いたします。

寄附についてご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

◆ 「寄附申込書」の送付先 ◆

住 所：〒030-0822 青森県青森市中央三丁目20番30号
社会福祉法人青森県社会福祉協議会

FAX：017-723-1394

◆ 寄附に関する問合せ先 ◆

青森県社協 総務課 総務係 寄附担当者 電話：017-723-1391

青森県社協HP
寄附ページは
こちら





スポットライト

社会福祉法人青森県玉葉会の
 救護施設 白鳥ホームで23年間
 勤務し、精神保健福祉士として
 活躍している
 木村 雅範(まのり)さんに
 スポットライト!



救護施設とは？

精神障害者、知的障害者、身体障害者のほか、生活困窮者や地域で生活することが困難な方が入所する施設です。障害を限定せず、条件に該当する方は福祉事務所を通じて措置されて入所する流れとなります。県内には3箇所の救護施設があります。

白鳥ホームはどんなところ？

入所者の年代層は20〜90代と幅広く、計120名が一緒に生活しています。入所者は園芸やリサイクル活動のほか、季節を感じられる数多くのイベントに参加し、日々の生活を送っています。

救護施設で働くキッカケは？

元々福祉分野への興味はあまり無く、大学卒業後、流されるまま営業の仕事をして2年ほどしていました。そんな時、先輩から障害者施設での仕事を紹介され、泊まり込みで施設実習を1ヶ月間行った際に障害者施設での仕事に興味を持ったのが大きかったと思います。その後、実習をした施設の職員からの紹介で24歳の時に白鳥ホームへ就職しました。

どんな資格を持っていますか？

働きながら介護福祉士、介護支援専門員の資格を取得しました。白鳥ホームは精神障害の入所者が多いので、精神保健分野のプロフェッショナルを志し、40歳で精神保健福祉士、今年には社会福祉士の資格も取得しました。

現場での思ひ出を教えてください！

40歳までの現場時代は、入所者の方々と園芸や地域のゴミ拾いをしたりしました。また、敷地内で飼っていた羊や兎の世話もしました。入所者から餌の配合や毛刈りを教えてもらったたり、時には羊に突進されたことも今ではいい思い出です。

どんなところがやりがいですか？

出勤時に入所者と挨拶をしたり、業務中に「ありがとう」とお礼を言われたり、帰りに「また明日も来てね」と声を掛けられると、自分を待っていてくれる人がいるんだな、と感じられるところが仕事を続けてこれた要因であり、やりがいです。

これからの目標を教えてください！

自身のポジションが精神保健福祉士であり、精神疾患のある方の入所中のケアや地域に送り出すことが多いので、その時代に沿った対応ができるよう日々勉強して、自分を高めていきたいです。また、個人的には「一施設一筋」という目標もあるので、これからも白鳥ホームで頑張っていきたいです。



現場での入所者との関わりを大切にしています

がんの超早期発見は、早期検査から。

世界初 がんのリスク早期発見サービス

線虫N-NOSE
エヌノーズ

尿1滴で全身15種類の
 がんリスクも判定

お届けしたいのは
 期待を超える価値と笑顔です

スマート介護なら何でも揃う！

スマート介護
介護・福祉施設向けデリバリーサービス

コスト＆手間の軽減で
業務効率UP!

充実の商品
 ラインナップでサポート
約20,000アイテム

介護施設で働く
 すべての皆さまをお手伝い!

Airdog

CMでおなじみ
 世界最強レベルの空気清浄機

株式会社ヒグチで
販売中

青森市問屋町一丁目15-22 ☎017-738-3661
 八戸市下長四丁目5-4 ☎0178-38-8411

福祉従事者向け研修計画一覧を活用ください！ ～ HP で毎年公開しています ～

県社協HP
令和5年度
研修計画一覧



県社協では、県内の「福祉従事者向け研修計画一覧」を毎年HPで公開しています。令和5年度版も公開中で、県社協が開催する研修だけでなく、県内の福祉団体や大学等が開催する研修も数多く掲載していますので、研修を探す際にぜひご活用ください。

研修計画一覧のポイント

① 様々な分野の研修を掲載！

介護・障害・保育・ソーシャルワークなど様々な分野の研修を160個以上掲載しています。みなさんが知らなかった新しい研修が見つかるかもしれません。

② 参加しやすい研修も探せる！

参加費無料の研修、オンラインで受講できる研修なども掲載しています。業務が忙しく、会場までの移動が難しい時にも利用できる研修が探せます。

③ 研修申込の前に主催者に確認を！

研修の日程が決定していないものも掲載しています。また、開催を延期、中止する場合もあるため、気になる研修がある時は研修の主催者に確認をお願いします。

福祉に関わる皆様へ
ドライバーにもしもの時の安心を

 **自動車総合共済**

福祉施設割引 (10%) 福祉車両割引 (3%)
福祉施設職員割引 (5%) 障害者割引 (10%)

 **県火災あおもり**  

青森市新町2丁目8-26 TEL 017-777-8111 (青森本部)



Next innovation
会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター


■本社 / 青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300
■八戸支店 ■東京支店 ■弘前営業所

「お客さまの安心と満足」をお届けするために。

自動車保険 病気・けがの保険 すまいの保険 就労不能に備える保険 損害賠償の補償 従業員の退職金対策

保険を通じて皆さまの「挑戦」を支え、地域とともに成長します

MS&AD 三井住友海上エイジェンシーサービス株式会社

 三井住友海上エイジェンシーサービス株式会社はMS&ADインシュアランスグループの一員としてSDGsに取り組んでいます。

【青森支店】青森市橋本2-19-3 三井住友海上青森ビル4階 TEL : 017-718-5559
【八戸支店】八戸市柏崎1-11-18 シエナビル4階 TEL : 0178-43-3351
【むつ支店】むつ市金谷1-9-25 GOLDEN VALLEY OFFICE TEL : 0175-33-0291

新しい働き方 **ABW**
Activity Based Working



Technol 詳しくはコチラ▶ 